

【27年度一般会計補正予算 (第2号)】

賛成 公明党

LRT事業は、市が目指すネットワーク型コンパクトシティの形成を支えるための、大変重要な事業であり、地元経済界や地元交通事業者、LRTの早期実現を期待する多くの市民の声を踏まえ、速やかに官民連携による新会社を設立すべきであることから、原案に賛成する。

反対 市民連合

補正予算全体の評価は適切であると認めるが、住民とのコミュニケーションが不足し、明確な事業総額が示されない中、LRTの事業主体となる官民連携の新会社に出資することに反対する。

反対 共産党

巨額の費用がかかるLRT計画を、市民合意の客観的証明が示されていない中、多数決で反対意見を切り捨て、強引に進

める手法に疑問があり、LRT整備費を計上することに反対する。

反対 統一

LRT事業に応募した企業は1社で、その提案も不十分として急ぎよ、第三セクター方式による運営に舵を切ったものであり、正式決定されたのは2カ月前と市議会で十分議論されたとは言えない。拙速な決定は市民の合意形成を後退させることから、原案に反対する。

【26年度決算の認定】

賛成 自民党

歳入の根幹である市税や国民健康保険税などの収入率はそれぞれ4年続けて向上しており、また、財政力を示す指数は引き続き健全性を確保している。

26年度決算について

は、歳入歳出ともに適正、公正かつ効果的・効率的に執行されたと高く評価し、認定に賛成する。

反対 共産党

防災・福祉など市民生活を守る分野を抑制し、LRT事業などハコモノに税金を流し込む決算であること、費用対効果に疑問があることなどから、認定に反対する。

【LRT導入計画についての住民投票案例】

賛成 市民連合

整備費の大幅な増加などの計画変更で、市民不安は増加していると感じる。再三世論調査を求めてきたが、対応されないことから、直接市民意見を確認するため、条例制定に賛成する。

反対 自民クラブ

住民が直接投票で市長と議員を選び、住民の代表とすることが、二元代表制である。ともに抑制と均衡によって緊張関係を保ち、運営する仕組みであるので、LRT事業は住民投票を実施することなく、引き続き議会と執行部との間で十分に議

論をし、進めていくことが適切であるため、原案に反対する。

【陳情第3号・7号】

不採択に反対 共産党

市自治基本条例では、市政の重要事項について住民の総意を的確に把握するため住民投票を規定している。

陳情は、市民の関心の高まりであり、郷土に民主主義と市民の市政参画を根付かせるチャンスである。市民が納得のいく街づくりを進めるため、採択を求める。

議員研修会を開催しました

9月28日に、宇都宮大学大学院工学研究科安森研究室及び、帝京大学帝京宇都宮まちづくり研究会による「学生が考える宇都宮のまちづくり」をテーマとした研修を行った。  
釜川を活用した中心市街地活性化、大谷石蔵の保存・活用や、バス路線

改革を通して考えるまちづくりなどの学生の研究に対し、参加議員は熱心に意見を述べたり、質問を行ったりしていた。



▲議員研修会の様子

表紙写真について

9月27日に、長岡最終処分場跡地を会場に、「もったいないの森 長岡」植樹祭を開催しました。この事業は最終処分場跡地を樹林地として再生し、森や緑の役割や大切さを考えていただくことを目的に開催し、今年で8年目を迎えました。  
当日はシラカシやアラカシなど1,650本を、市民やボランティアなど約180名で植樹しました。  
最終処分場跡地が、地球温暖化防止や、防災に役立つ、自然豊かな森になることを期待したいです。

12月定例会の日程 (予定)

月日	内容	時刻
11月27日(金)	本会議開会	午前10時
12月 3日(木)	一般質問	//
4日(金)		
7日(月)		
8日(火)	常任委員会	//
9日(水)		
10日(木)		
12月17日(木)	本会議閉会	//

※上記日程は変更になる可能性がありますので、ご来場の際は、事前にお問い合わせください。  
議会事務局議事課 電話 (632) 2608